26-08-12
名古屋鉄道株式会社
共同リリース　名鉄タクシーホールディングス株式会社

名古屋市都心部における自動運転実証実験への参画について

名古屋鉄道および名鉄タクシーホールディングスは、愛知県が実施する、自動運転とオンデマンド配車システムを組み合わせた将来的な自動運転の社会実装に向けた実証実験（以下本実証）に参画します。

本実証において、名古屋鉄道は自社が提供するマイクロ MaaS サイト「デライド」を活用し、自動運転車両のオンデマンド予約および配車インターフェースを提供します。また、名鉄タクシーホールディングスは傘下の運行会社（名鉄交通第一株式会社、名鉄交通第二株式会社）と共に、長年培ってきたタクシーの運行管理および安全管理のノウハウを生かし、自動運転車両の運行支援（セーフティドライバーの乗務・運行管理）を担当します。

本実証には実施主体である愛知県のほか、幹事会社の NTT ドコモビジネス株式会社をはじめ、地域事業者として学校法人日本教育財団や名古屋造形大学も参画し、産官学が連携した取り組みとして、交通量の多い名古屋市都心部における自動運転技術の検証を実施し、利便性の高いモビリティサービスの構築を目指します。

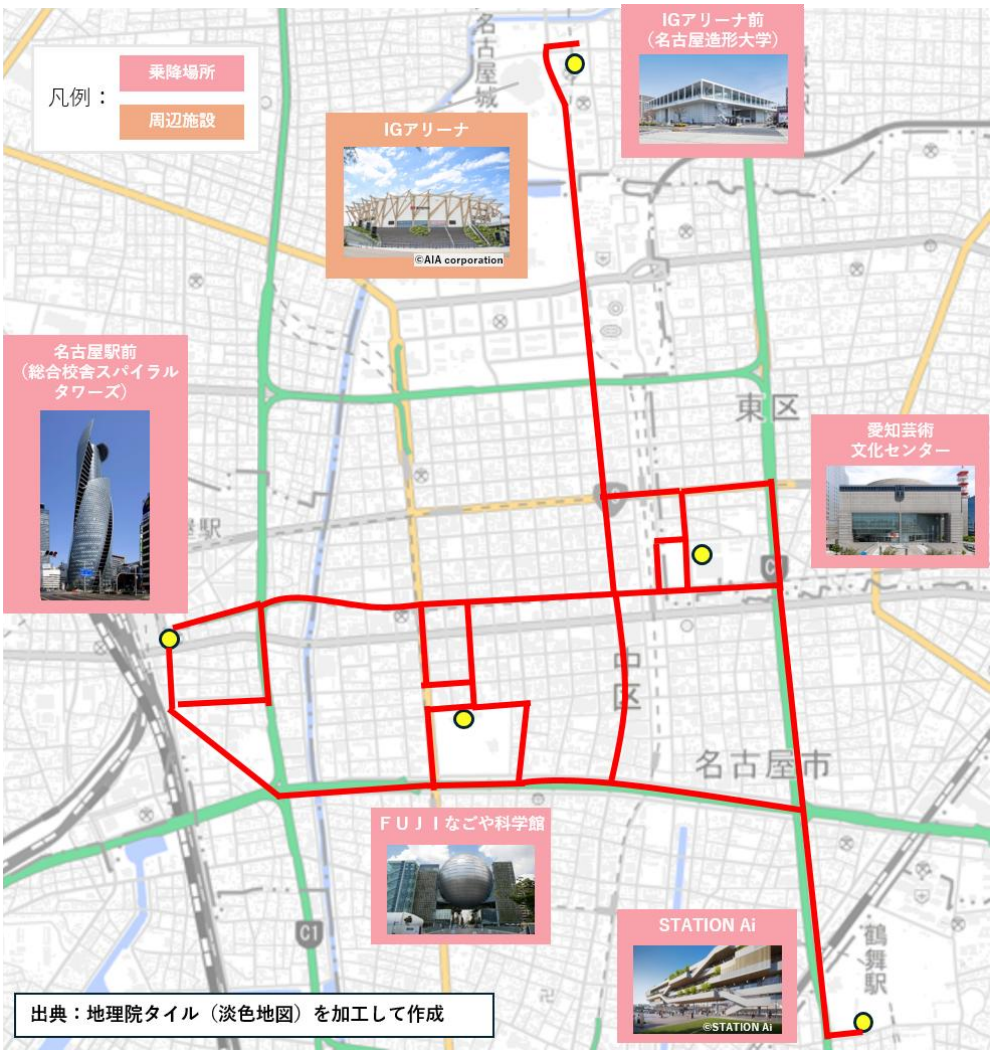
詳細は下記のとおりです。

記

1. 本実証の概要

実施期間	2026 年 9 月 11 日（金）から 2027 年 3 月 19 日（金）まで（予定） ※土・日・祝日および年末年始を除く平日（午前 10 時から午後 5 時）のみの運行です ※天候や点検のため、期間中においても運休する場合があります
実証目的	タクシーに近いオンデマンド運行を行うことによる、将来の実用化を見据えた技術面の検証や運行オペレーション上の課題抽出および社会受容性の調査
検証事項	・交通状況に合わせた走行を行う自動運転システムの実用性および安全性 ・移動ニーズに合わせた配車予約および安全かつ効率的な車両運用 ・無人車両を想定した配車予約から乗降車までの顧客体験および社会受容性
運行形態	・ミニバン「シエナ（トヨタ自動車）」をベースとした自動運転車両 3 台 ・1 台貸切方式によるオンデマンド運行（利用料金：無料） ・乗車定員：5 名（セーフティドライバーを除く） ※自動運転レベル 2（運転席にセーフティドライバーが乗車）で運行します
乗降地点	名古屋市都心部の移動ニーズが高い以下の 5 か所を設定します ・名古屋駅前（総合校舎スパイラルタワーズ） ・STATION Ai ・愛知芸術文化センター ・IG アリーナ前（名古屋造形大学） ・FUJIなごや科学館

＜走行ルートのイメージ＞



2. 本実証における参画事業者と役割

組織名	役割
愛知県	本実証の実施主体・統括
NTTドコモビジネス株式会社	本実証のプロジェクトマネジメント、オンデマンド配車システムの提供および自動運転ソフトウェアとの連携
NTT モビリティ株式会社	自動運転車両の提供および導入・運用支援
株式会社 NTTドコモ	対話 AI キャラクターおよび車内タブレットシステムの提供
May Mobility, Inc.	自動運転ソフトウェアの提供
名古屋鉄道	オンデマンド配車予約サイト マイクロ MaaS「デライド」の提供
名鉄タクシーホールディングス、名鉄交通第一株式会社、名鉄交通第二株式会社	交通事業者としての運行支援（セーフティドライバーによる安全確認・運行管理）

学校法人日本教育財団（国際工科専門職大学（名古屋キャンパス）、HAL 名古屋）	地域事業者としての実証支援、車両デザイン、チラシ・ポスターデザイン、PR 動画作成、対話 AI キャラクターデザイン
名古屋造形大学	地域事業者としての実証支援、車両デザイン

3. 本実証の特長・取り組み内容

(1)「デライド」とオンデマンド配車システムの連携

名古屋鉄道が提供するマイクロ MaaS サイト「デライド」と配車システム・自動運転ソフトウェアを連携させ、利用者の予約に応じて最適に車両を配車する機能や自動運転車両の開錠機能を提供します。

(2) 交通事業者のノウハウを生かした運行支援

名鉄タクシーホールディングスおよび傘下の運行会社の乗務員がセーフティドライバーとして安全確認を行うとともに、運行管理・安全管理のノウハウを生かして将来の自動運転の運用に向けた課題抽出を行います。

(3) 自動運転技術の高度化とレベル 4 社会実装に向けた検証

米国で無人自動運転の実績を有する May Mobility, Inc.の自動運転ソフトウェアを使用し、交通量の多い名古屋市都心部における交差点右折時の走行制御や信号予測精度の向上など、自動運転レベル 4（特定条件下における完全自動運転）に向けた技術検証を行います。

デライド画面イメージ

(4) 将来の無人走行を見据えた車内体験・地域連携

将来の無人運行を想定し、車内タブレットでの対話 AI キャラクターによる案内（実証期間後半に予定）や、地元学生（国際工科専門職大学（名古屋キャンパス）、HAL 名古屋、名古屋造形大学）がデザインした自動運転車両の運行など、快適な移動体験と社会受容性の醸成を図ります。

4. 予約方法および詳細について

実証実験の予約および利用に関する詳細は、専用ホームページ（「デライド」内）よりご確認ください

・URL：https://maas.meitetsu.co.jp/nagoya/aichiauto/

※Web ブラウザで動作するため、アプリダウンロードの必要はありません

web サイトアクセスはコチラから⇒

以上

本件は、名鉄グループ中期経営計画（2024 年度～2026 年度）の重点テーマに掲げる【公共交通を中心とするモビリティネットワークの実現】の一環として取り組むものです。